

# 受注企業動向調査結果

-2023.12-

■調査時点 令和5年12月調査(令和5年12月末時点)

■対象企業 150社

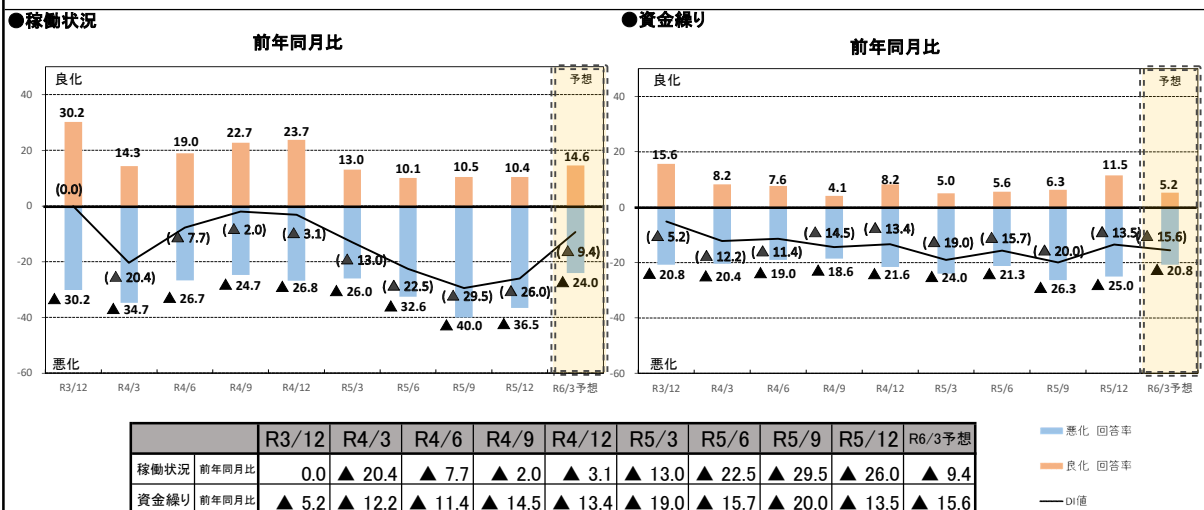
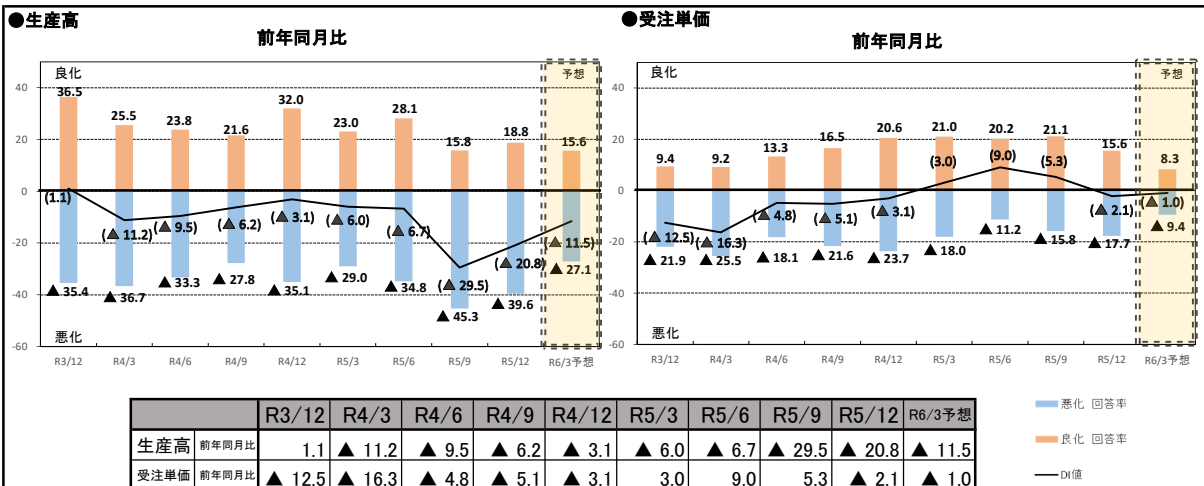
■調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)

■回答企業 96社(回答率:64.00%)

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

## <業種内訳>

プラスチック	8社
鉄鋼・非鉄	6社
金属製品	19社
一般機械器具	23社
電気機器	18社
輸送用機器	5社
精密機器	10社
縫製	7社
計	96社



## ●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)DIは▲20.8で前回の▲29.5から8.7ポイント増となった。
  - ・受注単価(前年同月比)DIは▲2.1で前回の5.3から7.4ポイント減となった。
  - ・稼働状況(前年同月比)DIは▲26.0で前回の▲29.5から3.5ポイント増となった。
  - ・資金繰り(前年同月比)DIは▲13.5で前回の▲20.0から6.5ポイント増となった。
  - ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲11.5、受注単価は▲1.0、稼働状況が▲9.4、資金繰りは▲15.6という予想になった。
  - ・その他自由意見として、
    - ・若年労働力の不足。技術の継承に不安感がある。
    - ・人材不足。
    - ・現在は過去の受注分の生産があるため、比較的好調だが、中国の景気悪化の影響で特に半導体分野での受注が先細っており、少なくとも令和6年4月まで厳しい局面になると思われる。
    - ・3ヶ月の予想として、わからないのが実態(1ヶ月先もわからない)。
    - ・半導体関連が少ない。
    - ・値上げが追いつかない。65%位までしか値上げになっていない。
    - ・業界全体にて受注減少している。非常に悪い。
    - ・2024年の製造業の景気が気になる所であるが、弊社更なるイノベーションを図り、新分野を開拓する。
- という意見が寄せられた。